

横浜市立洋光台第一小学校



# 学校だより

令和5年4月7日発行

令和5年度

# 4月

## 自分らしく「かがやく」

校長 千本 恵子

春のあたたかな陽ざしの中、花々が美しく咲き、子どもたちの入学・進級をお祝いしています。84名の新1年生を迎え、令和5年度がスタートしました。

4月1日に中村智校長の後任として着任いたしました千本恵子と申します。着任当日、校門で出会った子どもたちの元気なあいさつと地域の方々笑顔に迎えられ、とても温かな気持ちになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

着任するにあたり、本校の学校教育目標『ひびきあい かがやく 洋一の子』について考えました。子どもたちが響き合い、その中で一人ひとりが輝く姿に育てていくために大切なことは何だろう？ そこで一編の詩を思い浮かべました。

金子みすゞさんの「わたしと小鳥とすずと」です。3年生の国語の教科書にも載っていて、私が好きな詩です。

わたしが両手をひろげても、  
お空はちっともとべないが、  
とべる小鳥はわたしのよう、

じべた  
地面をはやくは走れない。

わたしがからだをゆすっても、  
きれいな音はでないけど、  
あの鳴るすずはわたしのよう  
たくさんうたは知らないよ。

すずと、小鳥と、それからわたし、  
みんなちがって、みんないい。

この詩の最後の一行には「みんなちがって みんないい」という言葉で、金子みすゞさんの思いが表現されています。自分らしさを大切に、他者のその人らしさも大切にしてほしいという思いが伝わってきます。

学級や学年には、一人として同じ子どもはいません。みんな違います。違うからこそ一人ひとりが輝き、仲間どうしが響き合い、さらに輝くことができるのではないのでしょうか。新年度を迎えるにあたり「みんなちがって、みんないい」ということを子どもたちに伝えるとともに、私たち教職員は、日々の教育活動の中で一人ひとりの良さを大切に、子どもたちが心豊かに安心して学校生活を送ることができるように努めていきたいと思えます。

保護者・地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。